

筑波大学附属大塚特別支援学校 代表授業

中学部 社会科 学習指導案

日時	2024年2月9日(金)11:10~12:00
対象	中学部3班 (男子2名・女子3名)
場所	会議室
授業者	堀江 俊丞(MT) 飛田 真里(ST)

単元名	私たちのくらしとみんなの施設
-----	----------------



〈中学部教育目標〉

- (1) お互いを認め合い、協同・協力し合いながら共に学校生活を送る力を育む。
- (2) 自らの願いや思いを表現する力を高め、自信をもって自主的・自律的に学習や活動に向かう力を育む。
- (3) 社会生活に必要な基本的な知識や技能を身に付け、様々な事に関心を持ち、問題を解決する力を育む。

I. 単元計画

学部・年/組	教科等	時数（想定）	実施時期	作成者
中学部全（第3班）	社会	12時間	1月下旬～2月中旬	堀江・飛田

1. 単元名

私たちのくらしとみんなの施設

2. 単元の構想

(1)	学習者の興味・関心 (児童・生徒観)	<p>中学部では、これまで「社会参加と仕組み」の内容を単独で扱う単元を設定していない。特別活動をはじめ、学校生活全般において学校生活におけるきまりを確認したり、日常生活や社会生活に関係する基本的な制度や行政サービスや公共施設や公共物の利用については、年に十回程の実際の利用を通して、その利用方法や交通ルール等のきまりを遵守したりする学習に取り組んでいる。また、家庭における利用の実態は、個人差が大きい。したがって、これらの利用方法に留まらず、これらの役割や必要性について理解したり、現在や将来の自分の生活の中での公共施設や公共物の利用を考えたりして、快適な生活に役立つことについて表現する学習の機会が必要である。</p>
(2)	学習活動・教材 (単元・題材観)	<p>本単元は「公共施設」を題材とし、主として「事象や人々の相互関係の視点」を働かせながら、公共施設の役割や利用について学習する単元である。学習活動として、公共施設全般についての基礎的な知識を学習した後、生活に身近な公共施設の役割や利用方法についてiPadや校外学習に行き調べたり、調べたことをまとめたりして、より理解を深めることができるようにする。また、校外学習に行く施設については学習してきた内容を踏まえた話し合いを通して、良いと思ったところやもっと利用したくなる工夫、改善点等について考え、意見を出し合う。さらに、実際に文京区の担当部署にメールを送り、公共施設についての自身の意見を他者に伝える機会を設け、市民としての当事者意識を高めていく。</p> <p>教材としては、クイズゲーム(Kahoot!)を利用して基礎的な知識の定着を図る。また、学習を整理して掲示するために生徒たちがまとめたものを活用し、学習してきた内容を振り返りながら、自身の考えをまとめていくことができるようにする。加えて、地域資源を活用し、校外学習での利用や自分たちの意見をメールで区役所に伝える等の体験的な学習の場面を設定し、公共施設を利用したり、公共施設についての要望を出したりすることが自分たちの権利であるということにより実感することができるようにする。</p>
(3)	単元の意義・展望 (指導観)	<p>複数の公共施設について調べたり、校外学習等の体験的活動をしたりする中で、公共施設の役割や利用方法について知ることや、市民である生徒たち自身が公共施設を生活の中で利用したいという思いを育むことをねらいとする。そこから、公共施設の利用機会について考えたり、公共施設についての「ここがいいと思う」、「もっとこうしてほしい」などの意見をもつ経験を得たりしながら、考えた意見を伝える権利があることを知って、社会の一員としての意識をより一層高めていくとともに、自分自身の力でよりよい生活をつくり出していくという気持ちを広げることを期待する。</p>

3. 単元目標（単元全体に関わる内容）

単元を通して目指す子どもの姿		
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割について調べ、その必要性について理解する。 現在や将来の自分の生活の中での公共施設や公共物の利用を考え、快適な生活に役立つことを表現している。 		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活に関わる公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。 見学や調査をしたり、各種の資料で調べたりして、まとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加に必要な現代社会の仕組みについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え、学習したことを自分の生活に生かそうとしたりする態度を養う。

4. 指導計画（第3班）

次	小単元名	時数	学習活動
一	公共施設について知ろう。	2	1… オリエンテーション、公共施設について知っていることをまとめる。 2… 公共施設の分類分けについての話し合い活動をした後、公共施設の意味や税金が使われていることについて知る。
二	公共施設について調べよう。	6	3… 税金が使われている公共施設について実際に行き調べることを知り、グループで実際に行き調べたい公共施設について話し合う。 4～5… 3で決めた以外の公共施設【文京区シビックセンター（区役所）・図書館・児童館・スポーツセンター・B-lab】の役割や利用方法等について調べまとめる。 6… 行き調べる公共施設について知っていることをまとめ、見るべきポイントを確認する。

			7～8…公共施設を実際に訪れ、4～5で確認したことについて調べる。
三	公共施設についてまとめたり、考えたりしよう。	4	9～10…実際に行き行って調べた公共施設についてグループで話し合いながらまとめ、話し合い活動を通して、おすすめポイントについて考える。 11… 二次までにまとめたり、考えたりした資料を参考に、実際に訪れた公共施設をより良くするための方法について考え、話し合うとともに、次の授業で実際に出了意見伝えることを知る。(本時) 12… 10で出了意見を文京区役所に伝える方法について調べた後に、メールで伝える。

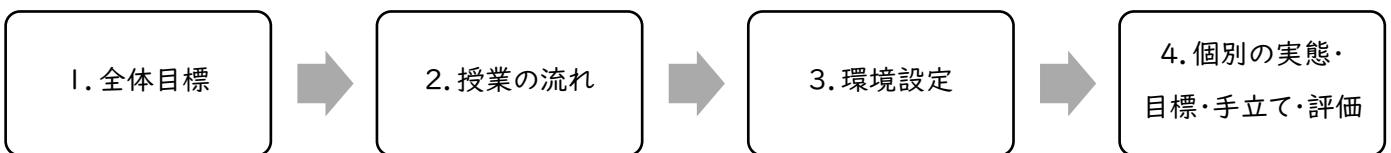
5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活に関わる公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。 見学や調査をしたり、各種の資料で調べたりして、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加に必要な現代社会の仕組みについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え、学習したことを自分の生活に生かそうとしたりしている。

6. 単元計画の評価(次年度に向けて) A 概ね妥当 B 要検討

時数：A 概ね妥当 B 要検討()	目標設定：A 概ね妥当 B 要検討()
題材：A 概ね妥当 B 要検討()	教材・環境設定：A 概ね妥当 B 要検討()


II. 本時(11/12時間) ※本指導案は、下図の順で表記しています。


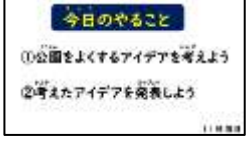
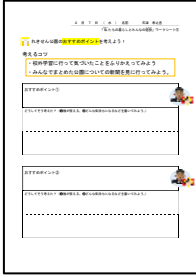




1. 本時の全体目標


資質・能力	内容
知識及び技能	
思考力、判断力、表現力等	公園をよりよくするためのアイデアについて、これまでまとめてきた資料を参考にしながら考えて、表現する。
学びに向かう力、人間性等	自分なりの理由をもって、どんな公園にしたいか伝えようとしている。

2. 授業の流れ

	学習内容/【評価】	指導上の配慮事項	教材教具/学習の様子
導入 10分	1 始めの挨拶をする。 2 公共施設のクイズを行う。 【クイズの内容】 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の役割 施設の使用者と市民 税金 公共施設を作る街 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始前に Kahoot!の画面を教室前方に提示しておき、準備をするように促し、筆箱やファイル等は使用するまで机にしまっておくように声を掛ける。 MT はクイズの答えがわからない様子が見られた時には、学習した内容をもとに問題や解答を言い換え、わかりやすく再提示する。 本時の学習につながる新しい問題(区役所でできること)を最後に加える。 ST は終了後にタブレット端末を回収する。 	<ul style="list-style-type: none"> Kahoot! タブレット端末 資料① (教室横に掲示しておく) 

<p>展開1 15分</p>	<p>3 前時までの学習を振り返り、本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>公園をもっと良くするためのアイデアを考えて、伝え合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がまとめてきたことと本単元のキーワードである「街のみんなが使える公共施設」について、作成した資料①を用いながら確認する。 前時に行った学習と繋がりがあがる目標であることを説明しながら、目標を確認する。 目標を教室前方に提示し、授業全体を通して、生徒が確認することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標提示板 
	<p>4 本時の学習の流れを知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時の流れ】</p> <p>①校外学習で行った公園をより良くするためのアイデアを個人で考える。</p> <p>②それぞれで考えたアイデアをみんなで共有する。</p> </div> <p>5 公園についてまとめた資料①と体験をもとに考える。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園をより良くするためのアイデアについて1つ考える。 ワークシートに自分の考えと理由を記入する。 <p>6 それぞれの意見を持ち寄り、公園をより良くするためのアイデアを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたアイデアについてワークシートをもとに発表する。 意見を共有しながら、公園をより良くするためのアイデアについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習でおすすめポイントをまとめたことと公園が街のみんなに使われていることを再度、ホワイトボードに貼ってある資料③をもとに確認する。その後、街のみんなのために今回はより良くするためのアイデアを考えることを伝える。 本時の全体の流れを説明し、見通しをもって活動に取り組むことができるようにするとともに、活動の流れを前方に掲示しておく。 これまで作成してきた資料①を教室の側面に掲示しておき、確認しながら考えてよいことを伝える。 考えるコツを記載したワークシートを用意し、体験して気づいたことやまとめた資料①をもとに考えていいことを視覚的にも示す。生徒 A・B・C のワークシートは半分に折って渡し、視覚的に考えるアイデアが1つであることを理解できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> シーソーがほしい ・トランポリンがほしい 階段の手すりがほしい ・柵の中に入らない トイレの前に植え込みがほしい 等 </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや考えた理由をうまく書けない様子が見られた時には、資料①と一緒に確認する時間を設けて、公園について調べてきたことを整理しながら考えることができるようにする。それでも難しい様子が見られた時には、校外学習で生徒が出した発言を視覚的に示したヒントカードを提示したり、ワークシートを振り返ったりするように伝える。 活動を始める前に、話をする時のルールを確認する。ルールは常に確認できるように掲示する。 それぞれの考えを全員で視覚的に共有することができるように、公園全体の写真を拡大して提示する。また、活動の見通しをもつことができるように、前時で学習したおすすめポイントについても合わせて提示し、今回はアイデアシールを貼っていくことを伝える。(資料③) 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れカード  <ul style="list-style-type: none"> ワークシート  <ul style="list-style-type: none"> 校外学習の気づきをまとめたワークシート 資料① ヒントカード (生徒の実態に合わせて提示する視覚教材)  <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 資料③と視覚教材 話をする時のルールカード <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話をする時のルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全員の考えを聞こう ②考えられた理由も伝えてみよう ③友達の見解に反応しよう </div> 

		<p>【話しをする時のルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全員の意見を聞く。 ②考えた理由も伝えてみる。 ③友達の意見に反応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員が話し合い活動に集中することができるようにメインの司会はMTが行い、視覚教材などの準備はSTが行う。 ・友達の意見に対して、反応することが苦手な生徒には、必要に応じて伝えようカードを渡し、友達の意見に反応しやすくする。(生徒A・C・E) ・これまでの学習やまとめた資料①から、生徒が設置したいことが予想される遊具についてはイラストを用意しておき、視覚的に表現することができるようにする。 ・資料をもとにした意見を伝えていた時は、「どの資料から考えたの？」などと発問をして、考えた理由となった資料を全体で再度共有する。 	 <p>・伝えようカード</p>   <p>イメージ</p>
<p>展開2 20分</p>	<p>7 公園についてまとめたインタビューで聞いた意見と資料①と体験をもとに考える。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの意見について確認する。 ・公園をより良くするためのアイデアについて2つ目を考える。 ・ワークシートに自分の考えと理由を記入する。 <p>8 それぞれの意見を持ち寄り、公園をより良くするための2つ目のアイデアを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたアイデアについてワークシートをもとに発表する。 ・意見を共有しながら、公園をより良くするためのアイデアについて再度考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習でインタビューした3つの内容について確認した後に、インタビューの視覚資料を提示し、どんなインタビューの結果があったか説明する。 ・インタビュー結果を踏まえて、公園をよりよくするためのアイデアをもう1つ考えることを伝える。 ・インタビューの視覚資料は、資料①の横に並べて、机に戻ったあとに見に行っていることを伝える。 <p>【予想される答え】遊具を増やしてほしい/自動販売機がほしい/椅子を汚さないようにする/ボール遊びができるようになってほしい。等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや考えた理由をうまく書けない様子が見られた時には、インタビューの視覚資料等を一緒に確認する時間を設けて、使っていた人たちの意見を整理しながら考えることができるようにする。それでも難しい様子が見られた時には、「どの人の意見がいいと思いますか？」などの発問を行い、自分の考えに近い人をヒントに考えることができるようにする。 ・展開1の6と同様の配慮を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの視覚資料  <ul style="list-style-type: none"> ・その他の資料は展開1の5と6と同様の資料を用いる。

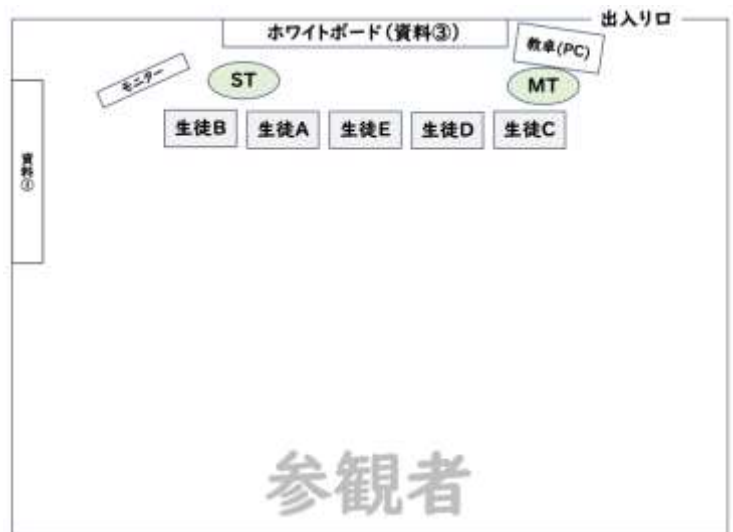
	<p>7 出てきた意見について、「自分たちができることと、できないこと」をテーマにして分けな。その後、できないことについてどうしたらいいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができるかできないかを考える。 ・自分たちができないことはどうしたらよいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の意見が出た後に、「この中で自分たちができることは何かな?」、「このアイデアはみんなができることかな」等の発問をし、自分たちができることとできないことについて考えることができるようにする。 ・これまで出た意見の上に、「自分たちでできるカード」と「自分たちでできないカード」を貼り付けながらまとめ、視覚的に捉えることができるようにする ・全員の意見について自分たちでできるかできないか考えた後に、「自分たちでできないことについてはどうしたらよいと思う?」と生徒 D を中心に発問し、自分たちの意見を伝える公共施設があったことに気づきを促す。 ・これまでに調べた文京区役所(シビックセンター)の役割について聞いて、問い合わせができることに気づきを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできるカード、できないカード 
<p>まとめ 5分</p>	<p>8 本時のまとめ、次時の予告を聞く。</p> <p>9 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動のスライドを見せながら、公園をより良くするためのアイデアを考えることができたか振り返りを行う。 ・まとめの中で、自分たちができることはルールやマナーであることと、ルールやマナーを守ることでみんなが気持ちよく使えることについて触れる。 ・次回は今回みんなで出し合った意見を再度確認した後に、実際に伝えることを確認する。 	

3. 環境設定

(1) 会議室環境

【導入・終末時・個別で考える時】

【伝え合い学習の時】



(2) 提示資料(抜粋)

<p style="text-align: center;">クイズアプリ</p> 	<p style="text-align: center;">公園についてまとめた資料(資料①)</p> 
<p>学習してきた知識について二択で回答するクイズ。7つの問題と5枚の説明スライドで構成されている。最後の問題は本時の学習内容につながる問題を用意して、生徒が自分たちで気づくことを期待する。</p>	<p>生徒が校外学習を通してまとめた資料。本時で生徒たちが考えるための中心の資料であるため、教室の前方に提示する。(指導案作成後の授業で作る予定のためイメージ図となります。)</p>
<p style="text-align: center;">公園以外の公共施設をまとめた資料(資料②)</p>	<p style="text-align: center;">ワークシートとまとめ資料(資料③)</p>
	
<p>生徒が調べてきた公共施設をイラストや生徒の言葉でまとめたもの。本時での中で主として扱う資料ではないが、生徒の気づきを促す教材として、文京区役所についてまとめた資料を用意する。</p>	<p>ワークシートは生徒が自分たちの考えをまとめるとともに意見を伝え合う際の原稿になる。まとめ資料は公園の写真を大きく提示して、イラストを貼り付けることで生徒が視覚的に理解できるようにする。</p>
<p style="text-align: center;">伝えようカード</p>	<p style="text-align: center;">その他視覚教材</p>
	
<p>友達の意見を聞いて反応したり共感したりすることが苦手な生徒に渡して、友達の意見を聞いた後の反応を促す。活動を阻害しないように、渡すカードは多すぎないようにする。</p>	<p>生徒が考える際のヒントとなるように、校外学習で撮ってきた写真やインタビューを視覚的に提示できるようにする。その他、本時の目標、流れを説明するボード、話し合いのポイントなど。</p>

4. 個別の実態・目標・手立て・評価 (A…「十分満足できる」状況、 B…「おおむね満足できる」状況、 C…「手立て/目標の検討を要する」状況)

生徒	本時(本単元)に関わる実態	目標	手立て	評価
生徒 A (1年)	<ul style="list-style-type: none"> 生活の範囲が狭く、日常的に利用する公共施設も少ないが、行ったことのある公共施設については簡単に知っている。「公共施設」という言葉について本単元で初めて学習したが、学習を通して、街のみんなが使うということを理解してきた。視覚的な教材が理解しやすく、言葉だけの指示や記述だと十分に意味を理解せずに活動に参加していることがある。(知・技) 一つ一つの事象が単体で認識されているため、事象を整理して捉えたり、結びつけて考えたりすることは苦手である。見るべき資料の情報量を少なくし、注目すべきところを具体的に伝えることで資料をもとに考えることができる。(思・判・表) 社会科学習に意欲的に参加しており、自分の考えや意見を伝えることを好む。(人間性等) 	公園をより良くするためのアイデアについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> アイデアが思い浮かばない様子が見られた時には、資料①と一緒に確認するとともに、具体的に見るべきポイントを伝える。 資料①から考えることが難しそう時には、自分にとってどのような公園が良い公園かを考えることができるような問いかけを行う。それでも難しい時には、これまでの学習で生徒が発言していた「こんな公園が嬉しい」というアイデアを視覚的に示した教材を提示する。 	
		考えたアイデアについて、自分なりの理由をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 最初はオープンエスチョンで問いかけを行い、思い浮かばない様子が見られた時は、理由につながる資料①の具体的な部分を伝えながら、確認するように促す。 理由を表現することが難しい様子が見られた時には、教員側が2~3択で言葉にした理由を伝え、その中から選ぶことができるようにする。 	
生徒 B (1年)	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に行く公共施設は少ないが、行ったことのある施設について簡単に説明することができる。「公共施設」という言葉について本単元で初めて学習したが、学習を通して、街のみんなが使うということを理解してきた。視野が狭いため、広範囲のものを見るのが苦手である(知・技) 見るべきポイントを伝えることで事象を結びつけて考えることができる。簡潔にまとめることを練習中であるが、考えたことについて理由も含めて説明する姿が見られる。(思・判・表) 社会科学習に意欲的に参加しており、学習してきた公共施設を利用してみたいことを表現する姿が見られる。(人間性等) 	公園をより良くするためのアイデアについて、資料をもとに考える。	<ul style="list-style-type: none"> より良くするアイデアが思い浮かばない様子が見られた時には、具体的に資料①のどのあたりにアイデアにつながる内容が記されているかを伝える。 自分にとって良い公園についてのみ考えていた時には、公園について他の人はどんなことを言っていたか確認するように促す。 	
		考えたアイデアについて、資料や自分なりの理由をもとに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 最初はオープンエスチョンで問いかけを行い、思い浮かばない様子が見られた時は、理由につながる資料①の具体的な部分を伝えながら、確認するように促す。 理由を説明することが難しい様子が見られた時には、資料と一緒に確認しながら、説明したいことを整理して、伝えることができるようにする。 	
生徒 C (2年)	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験をもとにした知識や意味も含めて説明できる事象が多い。「公共施設」という言葉の意味についても大まかに知っていた。(知・技) 問われた質問以外の回答をしたり、活動中に自分の興味のあることに集中したりしてしまう場合があるが、資料を読み取ったり、事象を結びつけて考え、理由も含めて説明することができる。(思・判・表) 思ったことやわかった答えを咄嗟に答えてしまうことはあるものの、社会科学習に意欲的に参加している。特定の内容について興味関心が高く、学習と関係の少ない内容に注目することがあるが、声を掛けることで活動に再び参加することができる。(人間性等) 	資料をもとに、公園をより良くするためのアイデアを2つ以上考える。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味関心のある学習内容と関係ないことについて、考える様子が見られた時は、肯定的に捉えながらも、再度、考えるべき場面を確認する。 資料①をもとにしたアイデアが出ない時には、もう一度資料①を見返すように促す。 	
		考えたアイデアについて、資料にある根拠をもとに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料①をもとにしたアイデアについて、「どうしてそのように考えたのですか?」と問いかけをして、資料のどの部分からアイデアを考えたのか説明する機会を設ける。 資料①をもとに理由を説明することが難しい様子が見られた時には、考えに至った資料の内容を教員と一緒に確認する。 	

生徒 D (2年)	<ul style="list-style-type: none"> 行ったことのある公共施設について簡単に説明することができる。「公共施設」という言葉について本単元で初めて学習したが、学習を通して、街のみんなが使うということを理解してきた。(知・技) 事象を結びつけて考えることは苦手であるが、見るべき資料の情報量を少なくし、注目すべきところを具体的に伝えることで、資料をもとに自分の考えをもつことができる。回答に自信がない場合や友達の見解について反応を求められた際に、「わからない」、「みんなに言わないでほしい」と表現することがある。(思・判・表) ニュースを自宅で見ることもあり、社会科学習においては、知識を問われる学習に特に意欲的に取り組んでいる。その場で、自分の意見を伝えることは苦手であるが、準備をすることで発表することができる。(人間性等) 	公園をより良くするためのアイデアについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> アイデアが思いつかない様子が見られた時には、資料①と一緒に確認するとともに、具体的に見るべきポイントを伝える。 資料①から考えることが難しそうな時には、自分にとってどんな公園が良い公園か考えることができるような問いかけを行う。それでも難しい時には、これまでの学習で生徒が発言していた「こんな公園が嬉しい」というアイデアを視覚的に示した教材を提示する。 	
		考えたアイデアについて、資料や自分なりの理由をもとに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 最初はオープクエスチョンで問いかけを行い、思いつかない様子が見られた時は、理由につながる資料①の具体的な部分を伝えながら、確認するように促す。 理由を説明することが難しい様子が見られた時には、資料と一緒に確認しながら、説明したいことを整理して、伝えることができるようにする。それでも、難しい時には、教員側が2～3択で言葉にした理由を伝え、その中から選ぶことができるようにする。 	
生徒 E (3年)	<ul style="list-style-type: none"> 生活の範囲が狭く、日常的に利用する公共施設も少ないが、行ったことのある公共施設については簡単に説明できる。「公共施設」という言葉について学習前に知っている様子が伺えたが、具体的な意味については知らなかった。(知・技) 見るべき資料の情報量を少なくし、注目すべきところを具体的に伝えることで、資料をもとに自分の考えをもつことができる。理由について問われると「わからない」ということがあるが、再度資料の見るポイントを伝えることで理由も記述する様子が見られる。(思・判・表) 自分の意見に自信がないと友達とのやり取りの中で消極的になることがあるが、指名して発言を促すことで考えを発表することができる。(人間性等) 	公園をより良くするためのアイデアについて、資料をもとに考える。	<ul style="list-style-type: none"> より良くするアイデアが思いつかない様子が見られた時には、具体的に資料①のどのあたりにアイデアにつながる内容が記されているかを伝える。 自分にとって良い公園についてのみ考えていた時には、公園について他の人はどんなことを言っていたか資料①で確認するように促す。 	
		考えたアイデアについて、資料や自分なりの理由をもとに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 最初はオープクエスチョンで問いかけを行い、思いつかない様子が見られた時は、理由につながる資料①の具体的な部分を伝えながら、確認するように促す。 理由を説明することが難しい様子が見られた時には、資料と一緒に確認しながら、説明したいことを整理して、伝えることができるようにする。 	